

病害虫防除技術情報第 4 号

平成 22 年 6 月 17 日

三重県病害虫防除所

葉いもちの初発は 6 月第 4 週頃からと予想されます

1. 対象作物：水稲
2. 対象病害虫名：いもち病（葉いもち）
3. 葉いもちの発生予測

いもち病発生予測支援システム（ブラスタム）によると、小俣・鳥羽・熊野新鹿では 6 月 9 日に、葉いもちの感染に好適な気象条件（感染好適条件）となりました（下表）。

また 6 月 15 日には、県内の広い範囲で感染好適条件が現れたことから（下表）、6 月第 4 週ごろから、各地の圃場で病斑が現れ始めると予想されます。

いもち病発生予測支援システム（ブラスタム）による葉いもち発生時期の予測

2010年	桑名	四日市	亀山	津	上野	粥見	小俣	南伊勢	鳥羽	紀伊長島	尾鷲	熊野新鹿
6/09	—	—	—	—	—	—	●	—	●	(9)	—	●
6/10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(9)	(8)
6/14	(6)	(8)	(7)	—	—	◎	◎	(7)	(6)	—	—	—
6/15	●	●	●	●	—	(7)	●	●	—	●	●	(6)
6/16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

● :好適条件（いもち病発生の好条件が全て満たされた。）

◎ :準好適条件（湿潤時間の平均気温が比較的低いが湿潤時間10時間以上）

() :好適条件は満たされなかったが、湿潤時間が5時間以上（数値は湿潤時間）

— :好適条件・準好適条件は満たされなかった。

※ブラスタムは、気象台提供のアメダス気象データを基に、葉いもちの発生時期を予測するシステムです。

凡例●で示された感染好適日から、7～10日後に病斑が現れます。

4. 防除上の注意事項

- 1) 3 か月予報によると、7 月の天気は平年に比べ曇りや雨の日が多い見込みであり、感染の機会が増えることが懸念されます。早期発見、早期防除に努めましょう。
- 2) 前年、いもち病の発生が多かった地域では、本圃とともに周辺圃場での発生状況にも注意してください。
- 3) 補植用置き苗は発生源となるので、速やかに取り除いてください。